

未定稿

上平地区複合施設 基本構想 (案)

令和 年 月

上尾市

【目次】

1. 上平地区複合施設とは	1
2. 建設予定地の概要	1
3. 上平地区複合施設検討の前提条件	2
4. 上平地区複合施設への市民意見	2
5. 上平地区複合施設のイメージ	3
6. 公共施設マネジメントに沿った複合施設の考え方	3
7. 上平地区複合施設対象施設の絞り込み	4
8. 上平地区複合施設の概要	5
9. 上平地区複合施設のコンセプト	6
10. 上平地区複合施設配置図イメージ	9
11. 上平地区複合施設平面図ゾーニング	10

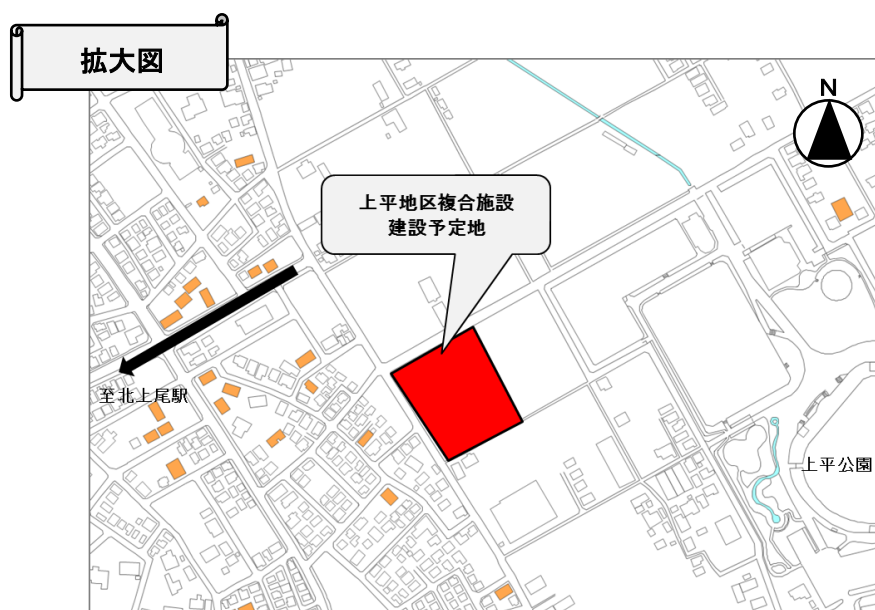
1. 上平地区複合施設とは

市は、図書館本館等の施設を複合化した「新図書館複合施設整備事業」を進めていたが、維持管理費が高額であることなどを理由に事業を見直すこととなった。

見直しにより、新図書館複合施設建設予定地だった上平地区の土地（上尾市大字西門前580-1外、敷地面積約7,200㎡）に新たに建設することになった施設が上平地区複合施設である。

2. 建設予定地の概要

- ・地名地番: 上尾市大字西門前字南前 580 番 1 外
- ・敷地面積: 約 7,200 ㎡
- ・区 域: 市街化調整区域
- ・建ぺい率: 50%
- ・容 積 率: 100%



3. 上平地区複合施設検討の前提条件

上平地区複合施設は、以下の前提条件に基づき検討するものとする。

- (1)市全体のための施設とする。
- (2)図書館分館機能を有する複合施設とする。
- (3)13 施設（4 ページ参照）の候補の中から複合化する施設を決定する。
- (4)13 施設以外に必要な市民サービスを提供する場合は、共有スペースから場所を確保するものとする。

4. 上平地区複合施設への市民意見

上平地区複合施設の検討にあたり、市民アンケート調査及び市民ワークショップを実施した。

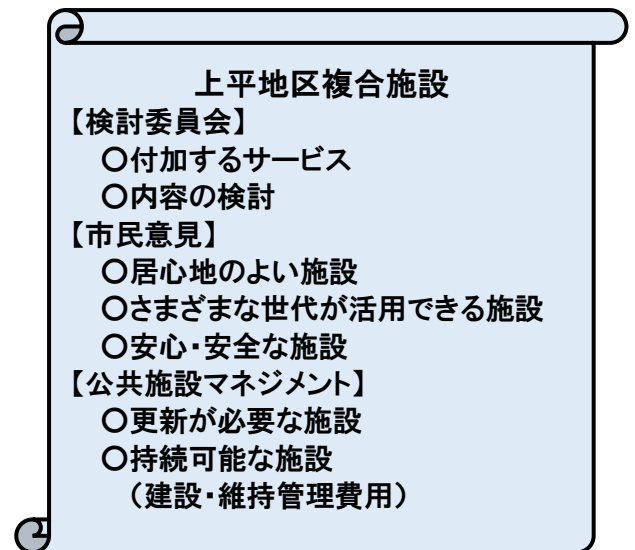
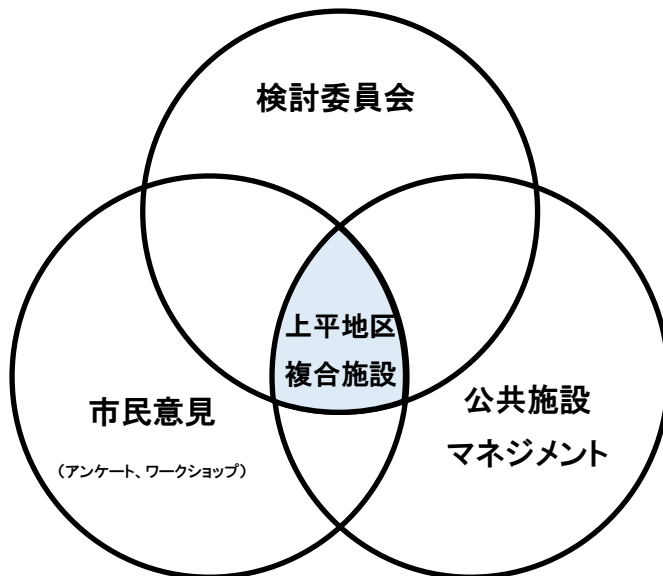
- ・令和元年 5 月に実施した市民アンケート調査では、上平地区複合施設の候補として望ましいものとして、「**保育施設**」「**保健・福祉施設**」「**文化・教育施設**」の組み合わせを望む声が多かった。また、共有スペースを利用して行なった方が良い市民サービスとして「**災害対策・防災活動の場**」「**交流の場**」「**親子のふれあいの場**」を求める意見が多かった。
- ・令和元年 12 月及び令和 2 年 1 月に開催した市民ワークショップでは、複合施設に望む施設やサービスとして、以下の 11 のキーワードに分類される意見が出された。

- | | |
|------------|-----------------|
| ①災害対策・防災活動 | ②地域コミュニティ、自治会活動 |
| ③遊び・余暇を楽しむ | ④福祉・健康 |
| ⑤運動・スポーツ | ⑥生涯学習、文化・教育 |
| ⑦世代間交流 | ⑧子育て |
| ⑨産業・就労支援 | ⑩交通・アクセス |
| ⑪その他 | |

- ・また、上平地区複合施設に取り入れたい施設やサービスとして、「**災害対策や防災活動に活動できる施設**」や、「**自由に過ごせる空間を設けることで、幅広い世代の方々が長く施設を利用できるような居心地の良い場所**」を求める意見が多かった。
- ・さらに、費用をかけずに施設やサービスを提供する方法として「**有料での提供**」や「**民間委託の実施**」などの意見が、施設やサービスを運営するために市民や民間業者が協力するための方法として「**ボランティア、民間業者、NPOの活用**」などの意見が出された。

5. 上平地区複合施設のイメージ

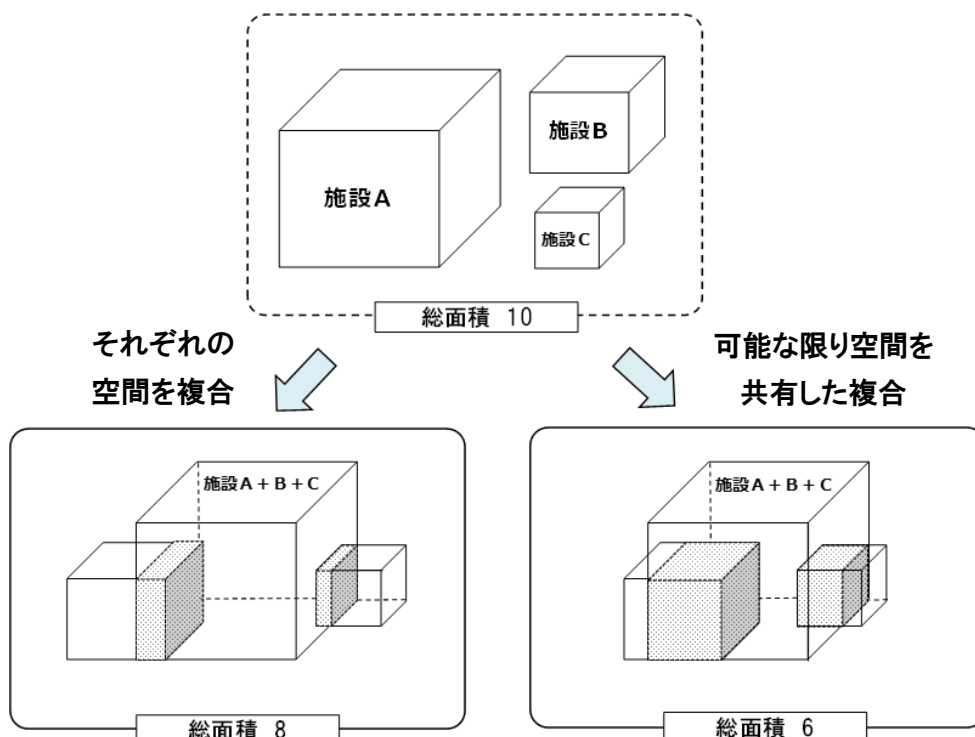
上平地区複合施設は、市民意見として出されたさまざまな市民ニーズに対応し、かつ公共施設マネジメントに沿った施設とする。



6. 公共施設マネジメントに沿った複合施設の考え方

●省スペース化の推進

- ・複合化のメリットとして共有化による省スペース化があげられるが、削減される面積は通路やトイレ、事務スペースに限られることが多かった。上平地区複合施設では、サービスの提供場所を融合させ一体的な利用を行うことで、**共有部分を増加し、総面積削減**につながる施設とする。



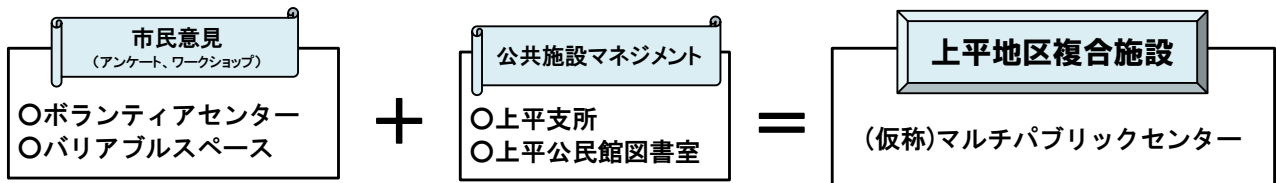
7. 上平地区複合施設対象施設の絞り込み

複合施設の候補となる 13 施設について、更なる絞り込みを行なった結果、以下の 3 施設に絞り込まれた。

No.	目標耐用年数 到来年度	対象施設名	候補	理由
1	R19(2037)	上平保育所	×	上平保育所の定員増及び民間の新規保育園開園により、上平地区における保育需要が充足されることから、目標耐用年数到来年度【令和19(2037)年度】まで現在の上平保育所で保育を継続するとの方針としたため。
2	R8(2026)	しらこぼと保育所	×	
3	R24(2042)	青少年センター	×	
4		少年愛護センター	×	
5	R29(2047)	総合福祉センター (社会福祉協議会)	×	現在の施設を長寿命化して使用するとの方針としたため。
6		障害者福祉サービス事務所 かしの木園	×	
7		身体障害者福祉センター ふれあいハウス	×	
8		老人福祉センター ことぶき荘	×	
9	R27(2045)	上平支所	○	上平地区複合施設への更新の必要があるため。
10	R20(2038)	上平防犯連絡所	△	上平地区複合施設への更新の必要があるため。 (上平公民館図書室が空いた場合、その場所でも可。)
11	R16(2034)	原市資料室	×	保管施設であるため、新規整備ではなく既存施設の空きスペースを活用するとの方針としたため。
12	R14(2032)	文化財収蔵庫	×	
13	R27(2045)	上平公民館図書室	○	上平地区複合施設への更新の必要があるため。

8. 上平地区複合施設の概要

以上の検討を踏まえ、上平地区複合施設の案を、市民意見を最大限実現するための「**バリアブルスペース（目的に合わせて形を変えることができる多用途・多機能な空間）**」と「**防災機能**」を補完し、「**上平支所**」と「**上平公民館図書室**」を複合化した施設（普段はコミュニティ活動などに使用し、災害時にはボランティアセンターとして活用できる場所）とする。



【建物概要】

- ・ 構造：鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 階層：地上3階建
- ・ 建物の延床面積：約 2,000 m²

- ・ 施設全体での賑わいの創出に加え、各階ごとに用途にあわせて特色を持たせた施設とする。

▲ 1階 交流ゾーン（動のバリアブルスペース）

多目的ホールを設置し、市民が少人数で自由に活用しながら交流を図る空間を目指す。また、屋外のイベント広場と多目的ホールを一体として活用し、各種イベントをすることで、賑わいの創出を図る。

▲ 2階 情報・学習ゾーン（静のバリアブルスペース）

学習スペースや屋外での読書スペースを設置し、本に親しみながら学ぶことができる空間を目指す。

▲ 3階 市民活動ゾーン（和のバリアブルスペース）

可動間仕切りを設けたワークルームを設置し、大人数での会議やコミュニティ活動ができる空間を目指す。

9. 上平地区複合施設のコンセプト

①市民サービスを通じた賑わいづくり

- ・上平地区複合施設は、見直しとなった新図書館複合施設のコンセプトであった「集いの場」とする考えを引継ぎ、上平支所と上平公民館図書室の複合化に留まらず、幅広い世代の方々が交流する場として活用することで、市民サービスを通じた賑わいを創出する施設とする。
- ・図書館分館機能として、I C T（Information and Communication Technology：情報通信技術）が導入された開放的な空間で貸出・返却・閲覧や情報検索を中心とした基本的な図書館サービスを実現する施設とする。

（例）I C ゲート、自動返却機の導入

電子書籍の導入

- ・また、共有スペースの一部に十分な学習席やグループワークスペースを配置することで、学生など若者向けの発信力とサービス向上を図る施設とする。

（例）大型スクリーンでの上映会の開催

キッズコーナーの設置

軽飲食の提供

広場でのイベント開催

②災害時に転用可能な施設

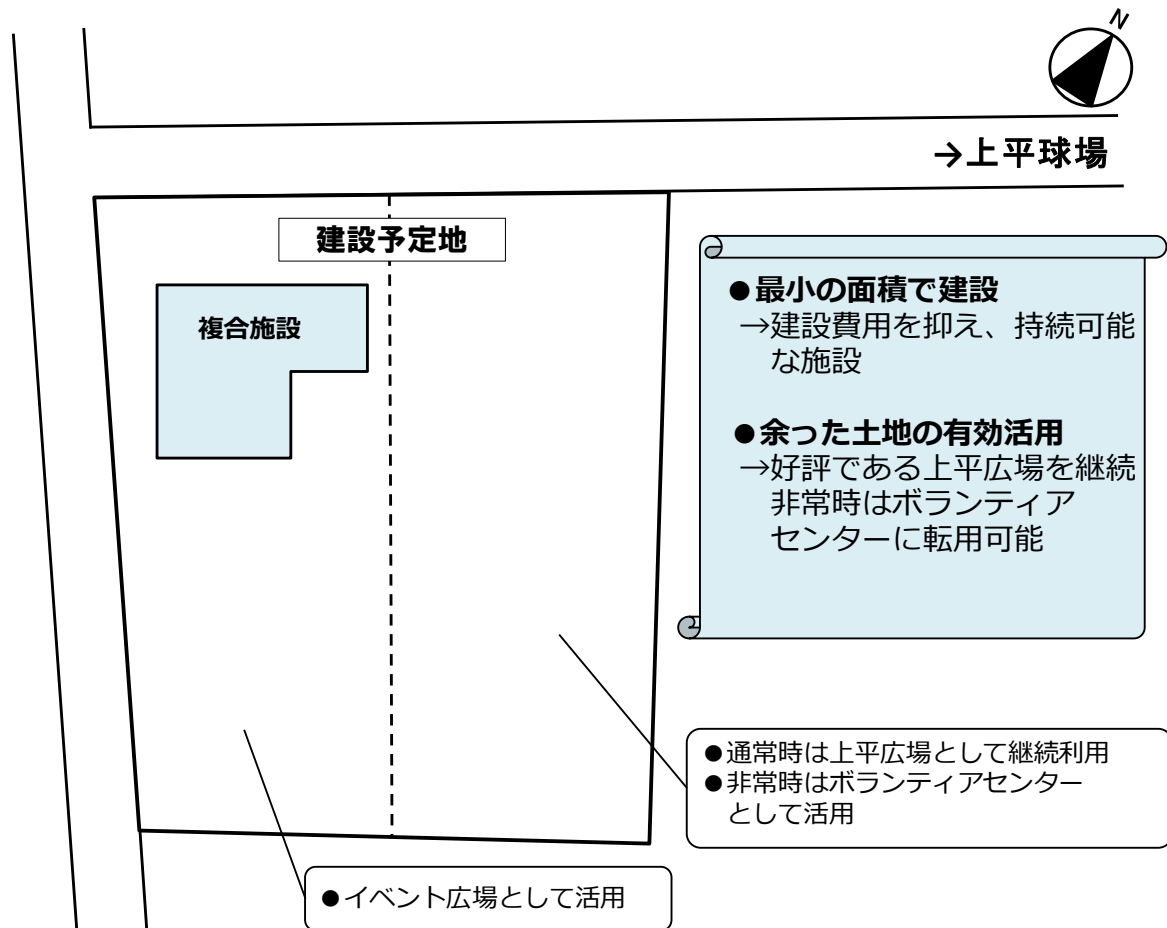
- ・令和元年東日本台風（台風 19 号）等の災害で得た教訓を基に、「災害後のボランティアの受け入れを可能とする施設」とする。
- ・また、災害の発生確率は低いことから、通常時には「市民が憩う施設」「子育て世代が交流できる施設」「自治会活動が可能な施設」など、必要に応じて同じ空間を複数共有できる施設を目指す。

③複合から融合へ

- ・会議室は間仕切りを可動式とし、用途や人数によって広さが変えられることで利便性、稼働率の高い施設とする。
- ・例えば、平日は「近隣住民のコミュニティスペース」や「子育て世代の交流スペース」を展開しながら、午後からは共有部分の一部を仕切ることによって学生を対象とした「学習スペース」や「放課後子ども教室」、夜間は「住民自治活動」の場、休日は「各種イベント」の会場とするなど、時間帯や曜日によって同じスペースを多様に使い分ける施設とする。
- ・また、災害時にはボランティア活動を支援するためのボランティアセンターを設けることで複数の市民サービスと融合させ、かつ必要最低限の面積でそれを可能にするハイブリットセンターとなる施設とする。

④最小の建築スペース

- ・建設時は必要最小限の大きさに留めることで建設コストを抑えるとともに、社会環境の変化に伴い時代とともに市民ニーズの変化に対応するため、間仕切りを減らし広い空間から必要なスペースを自由に切り出す複合施設とする。また、余った敷地については、現在の上平広場を継続利用することで有効活用する施設とする。



(余白)

10. 上平地区複合施設配置図イメージ



各種イベントの開催



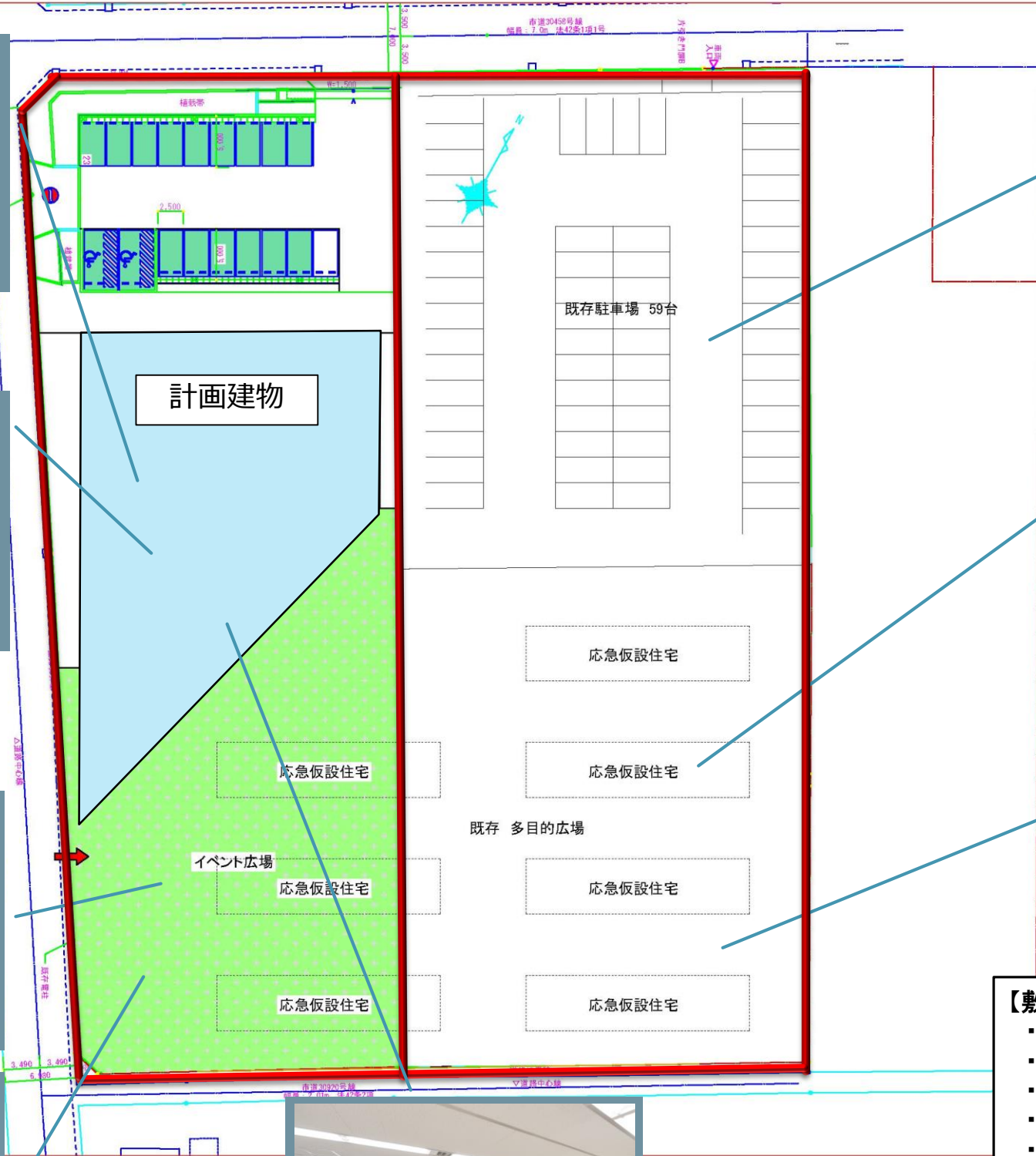
災害時にはボランティアセンターとして利用



広場でのイベント開催



市民の交流スペース



上平広場（既存駐車場）



災害時には応急仮設住宅の建設も可能



上平広場（既存多目的広場）

【敷地概要】

- ・地名地番: 上尾市大字西門前字南前580番1外
- ・敷地面積: 約7,200㎡
- ・区 域: 市街化調整区域
- ・建ぺい率: 50%
- ・容 積 率: 100%

【建物概要】

- ・構 造: 鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・階 層: 地上3階建
- ・建築面積: 約900㎡
- ・延床面積: 約2,000㎡

1 1. 上平地区複合施設 平面図ゾーニング

基本コンセプト：ボランティアセンターにもなる新しい図書館分館機能をもつマルチパブリックセンター

- 上平支所と上平公民館図書室の複合化に留まらず、幅広い世代の方々が交流する場として活用する施設とする。
- 災害後のボランティアの受け入れを可能とする施設とする。
- 構造：鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造、階層：地上3階建、建物の延床面積：約2,000㎡

イメージ図

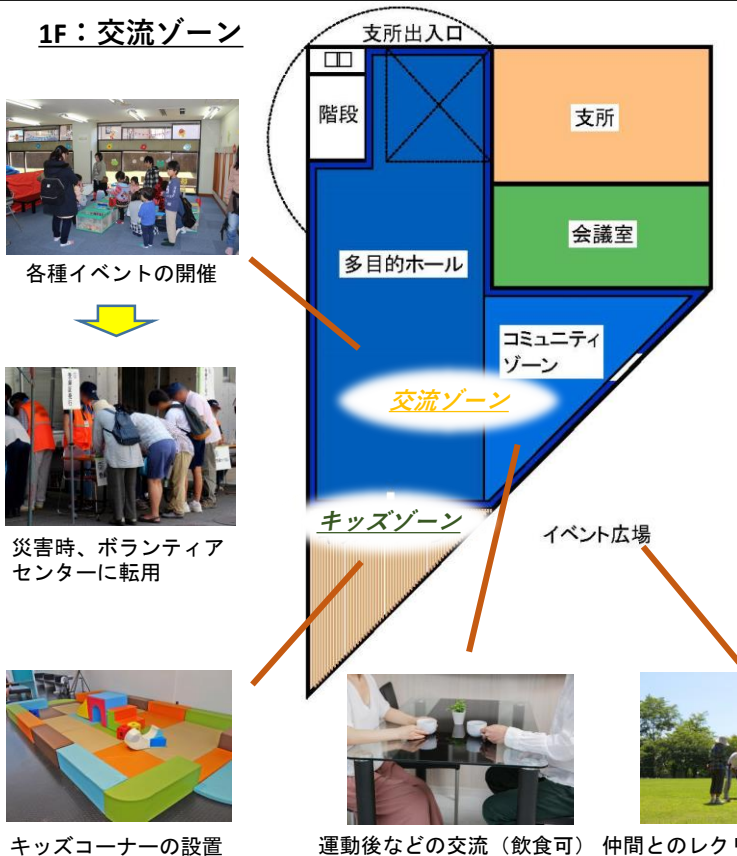
□ 施設全体が図書館分館機能を有する施設とする。

【1階】交流ゾーン：支所機能と多目的ホール+キッズゾーン

【2階】情報・学習ゾーン：開放的な図書館分館機能と若年代向けの学習スペース

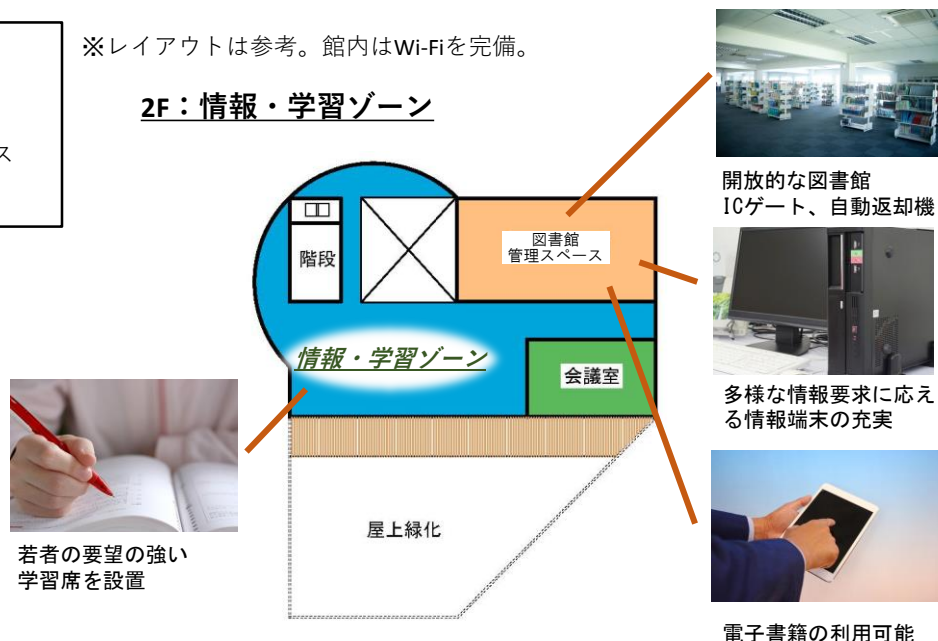
【3階】市民活動ゾーン：可動間仕切りにより大人数でも利用可能なワークルーム

1F：交流ゾーン

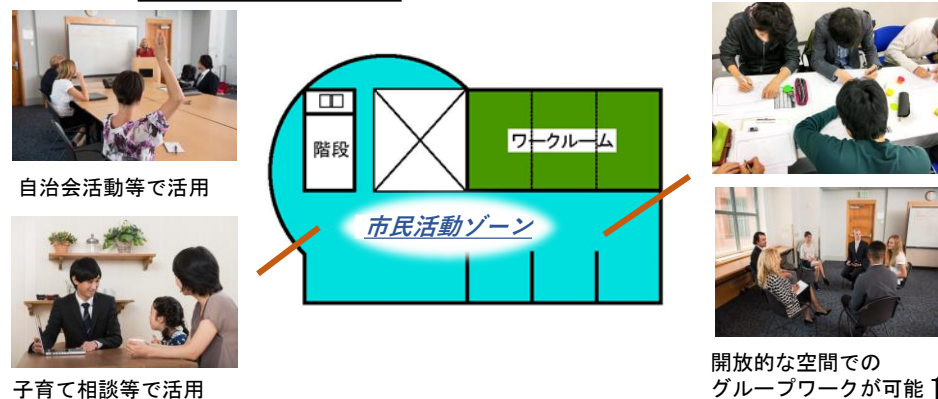


※レイアウトは参考。館内はWi-Fiを完備。

2F：情報・学習ゾーン



3F：市民活動ゾーン



(余白)

上平地区複合施設基本構想

令和 年（ 年） 月 策定

上尾市行政経営部施設課

〒362-8501 埼玉県上尾市本町三丁目 1－1

電 話：048-775-5115 FAX：048-775-9819

E-mail：s58000@city.ageo.lg.jp